

1 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

南都に齒取る唐人ありき。ある在家人の、慳貪にして、利養を先とし、事に触れて、あきなひ心のみありて、徳もありけるが、虫の食ひたる齒を取らせむとて、唐人がもとに行きぬ。齒一つ取るには、錢二文に定めたるを、「一文にて取りてたべ。」と言ふ。少分のことなれば、ただも取るべけれども、心様の憎さに、「ふつと、一文にては取らじ。」と言ふ。やや久しく論ずるほどに、おほかた取らざりければ、さらば三文にて、齒二つ取り給へとて、虫も食はぬに良き齒を取り添へて、二つ取らせて、三文取らせつ。心には利分とこそ思ひけれども、疵なき齒を失ひぬる、大きな損なり。これはまうすに及ばず、大きに愚かなること、をこがましきわざなり。

〔注〕*南都 奈良時代に都だった平城京のこと。

*唐人 中国から渡来した人。 *在家人 出家していない人。

*慳貪 けちで欲ばりなこと。

*利養 利益をむさぼって自分の財産を殖やすこと。

*徳 財産。 *たべ 給へ の少しくだけた言い方。

*利分 とこそ思ひけれども 得をしたと思っただろうが。

〔沙石集〕より 10

(1) 〰線A～Dを現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

A 〰 〰
C 〰 〰
D 〰 B 〰

(2) 線①～③、⑤の主語はだれか。あとから選び、記号で答えなさい。
(同じ記号を二度以上用いてもよい。)

① 行きぬ 〰 ② 言ふ 〰
③ 言ふ 〰 ⑤ 取らせつ 〰
ア 齒取る唐人 イ ある在家人

(3) 文章中に「ある在家人」の言った言葉として、「」でくくるべきところがある。文章の中から書き抜きなさい。

(4) 線④「二つ取らせて」の「二つ」とは何と何か。文章中から書き抜きなさい。

(5) この文章を通して、作者が述べようとしているのはどんなことか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の過ちを決して認めようとしないうえかき。
イ つまらない意地を張って人を不快にさせる愚かさ。
ウ 目先の利を求めて大切なものを失う愚かさ。
エ 健康を損なうまでその大切さに気づかぬ愚かさ。